

KEYUCA

neom 電波時計 取扱説明書

(デジタル電子音目覚まし時計)

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- お部屋が暗くなると自動で液晶表示面を照明
- 電子音アラーム機能

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

KEYUCA <http://www.keyuca.com>

発売元 河淳株式会社 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-15-1

取扱説明書番号 8RZ153BZ (Y1410)

※印は販売店記入

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について

電子回路などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなど外装部品の修理には、類似代替品の使用、または現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について

無償での保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有償での修理が可能です。ただし、修理内容や送料により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

※転居や贈答品などにより、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、輸入元のお客さま相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

商品の操作に関するご質問は、輸入元のお客さま相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ153BZ」をお伝えください。

輸入元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
<http://www.rhythm.co.jp>

お客様相談室 **0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00 (土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ①は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

②は、指示する行為を必ず実行することを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

! 誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

! 電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

! 電池の⊕⊖を正しく入れる
必ず守る
逆に入れると液漏れや発熱の原因になり、故障やけがの原因になります。

! 強い振動や衝撃を与えない
禁止
故障や破損の原因になります。

! めれた手で触らない
さびや故障の原因になります。

! 浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

! 分解や改造をしない
分解禁止
けがや故障の原因になります。

! 電池から漏れた液に触れない

●目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して、漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの発売元にご相談ください。

! 下記のような場所では使わない
禁止
性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 温風ヒーターなど乾燥した風が当たる所。
- 温度が+50℃以上の所。
- 温度が-10℃以下の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気を発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

電池・時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 電池と時計を分別して廃棄してください。

静電気による誤作動について

静電気の影響により、表示が欠けたりして正常に機能なくなることがあります。このようなときはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

GUARANTEE 保証書

※品名・型番 3900061 neom 電波_WH (8RZ153)

※保証期間 お買い上げ 年 月 日より 1年間

お客様 氏名 _____ 様
ご住所 _____
TEL (_____) _____

※販売店印 (所在地、店名、電話番号)

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無償で修理・調整いたします。なお、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について

■次のような場合には、保証期間中でも有償での修理になりますので、ご注意ください。

- 保証書のご提示がない場合。
- 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- ご使用中に生じる外観上の変化(ケースなどの小さス)。
- 電池の交換。
- ※送料・出張料は、実費をいただきます。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 種類異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かない所に置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは全部取り替える。

電池の種類について

- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れてありますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。

電波時計について

電波時計とは

クオーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2か所にあります。

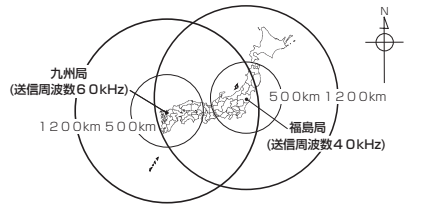
※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用した場合、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。海外でのご使用になるときには、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ *結露しないこと
液晶表示可読温度範囲	0～40℃
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 温度が5～35℃のとき
使用電池	単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V 2個
電池寿命	約1年 1日当たり、アラームを30秒鳴らして7時間自動照明を使用
標準電波受信局	標準電波を受信して日付・時刻を修正 福島局/九州局自動選択
受信回数	1日8回
受信開始時刻	1時から4時、13時から16時の16分40秒に受信を開始
受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能
アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
アラーム精度	表示時刻に対して±0秒
アラーム音	4段階電子音 鳴り方が変化
スヌーズ	あり
オートストップ	あり
音量調節	なし
カレンダー	2011～2099年対応
温度表示	-9.9～50℃
温度精度	±2℃ 測定範囲内
照明	液晶表示面を照明
暗所自動照明	明暗センサーと連動して暗所自動点灯
手動照明	スヌーズボタンを押すと約3秒間照明
明るさ調節	なし
防水機能	なし

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなったり、表示が薄くなったりすることがあります。40℃以上になると表示が濃くなったり、むらに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなることがあります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 電池 2個 取扱説明書・保証書 本書

各部の名称と役割

※図は操作説明用ですので、実際のものとは異なることがあります。

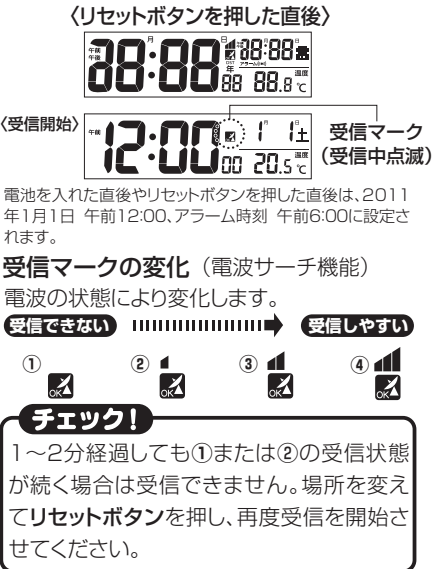


1個目の電池は、左側に入れてから右側に移動させてください。
単2形アルカリ乾電池 2個

1 電池を入れて、標準電波を受信して日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、**（手動での時刻合わせ）**をお読みください。

【受信の流れと表示】



電池を入れた直後やリセットボタンを押した直後は、2011年1月1日 午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

受信マークの変化（電波サーチ機能）
電波の状態により変化します。

受信できない → 受信しやすい

① ② ③ ④

チェック!
1〜2分経過しても①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押し、再度受信を開始させてください。

最長20分後（受信終了）

（表示例）
受信成功 受信マークが点灯
失敗! 受信マーク消灯

●受信マークは受信成功後、24〜25時間点灯。
●受信に成功しても、電気的なノイズにより誤った時刻や日付を表示することがあります。このようなときには、場所を変えてリセットボタンを押して再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

標準電波を受信できないときには、手動で日付と時刻を合わせてご使用ください。

手動での時刻合わせ …電波が受信できないとき、任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、西暦年、月、日、時刻（時、分）の順に設定します。

西暦年、月、日、時刻（時・分）でのボタン操作
数値を進むまたは戻るボタンで合わせてから時刻合わせボタンを押します。

操作	押してすぐ離す	押し続ける	戻る	進む	リセット	時刻合わせ
進む	1つ進む	早送り	○	○	○	○
戻る	1つ戻る	早戻し	○	○	○	○

操作例. 2014年12月25日 午前10:37に合わせる

①西暦年 設定対象が点滅します。

②西暦年を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。

③月を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。

④日を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。

⑤時を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。

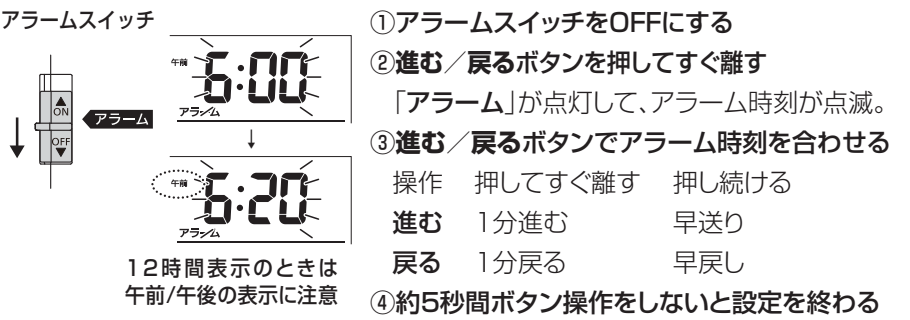
⑥分を進むまたは戻るボタンで合わせて、時刻合わせボタンを押す。

以上で設定は終わりです。
※秒は、⑤⑥で進むまたは戻るボタンを押すと「00」になります。

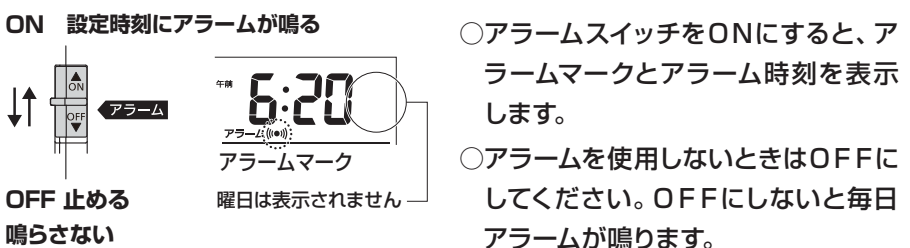
●約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている内容に設定して、時刻合わせを終わります。
●アラームが鳴っているときやアラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、時刻合わせボタンを押しても日時の設定には切り替わりません。
●電波受信機能がONの場合、手動で時刻合わせをしても自動受信を行い、受信に成功すると日時を修正します。
●標準電波を受信できないときの時間精度はクォーツ精度になります。

2 アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる



アラームスイッチのON/OFF設定

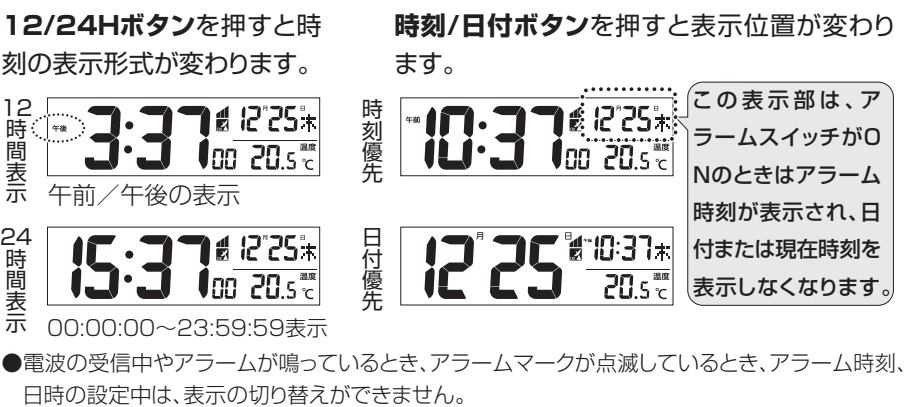


●オートストップ機能（自動鳴り止め）
鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴って止まります。

アラーム音の試聴

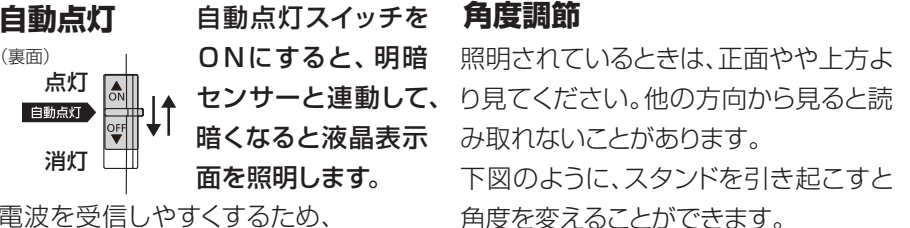
モニターボタンを押すと約2分間アラームが鳴ります。途中で止めるには、再度モニターボタンを押してください。
●電波の受信中や日時、アラーム時刻の設定中、アラーム状態では使えません。

表示の切り替え



●電波の受信中やアラームが鳴っているとき、アラームマークが点滅しているとき、アラーム時刻、日時の設定中は、表示の切り替えができません。

液晶表示の照明と角度調節



電波を受信しやすくするため、**電波を受信しているときは消灯します。**
昼間や室内照明がされていても、明暗センサーが暗いと判別したときは点灯します。

手動点灯
スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと表示面が約3秒間、自動点灯より明るく照明されます。

温度表示について

本製品は一般的な家庭やオフィスの室内用です。

○直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。
○設置する高さによっても温度に違いがでます。
○センサーが時計内部にあるため、周囲の温度の変化をすぐには反映しません。

○温度の測定は1分間隔で行います。
※温度の厳密な管理、温度の証明や取引には使用できません。

測定範囲を超えたときの表示
LLL : -10℃より低温
HHH : +50℃より高温

電池の交換について 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

⚠注意 電池からの液漏れにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。液漏れや発熱、破裂を防ぐために次のことをお守りください。

●液晶表示が薄くなったら速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
●動いていても1年に1回定期的に交換する。
電池は照明機能を使用しないと長持ちしますが、放置すると液漏れが発生しやすくなります。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF（無効にして手動で時刻を合わせる） リセットボタンを約1秒間隔で3回押してください。○「ピィ」と鳴ってから押してください。○OFFになると「ピィ」と鳴りません。○日付と時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON（有効にして受信を開始する） 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピィ」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。○標準電波を定期的に受信して日時を合わせます。

※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。
※電池を入れられない状態で、放置すると受信機能はONになります。

強制受信について

場所を移動したときなどに、強制受信ボタンを押すと受信を開始します。受信に失敗しても日時やアラーム時刻は継続して表示します。アラームが鳴っているとき、スヌーズ中のとき、日時またはアラーム時刻を設定しているとき、受信機能がOFFになっているときは強制受信ボタンを押しても受信を開始しません。